

## 作業時間について (10a当たり)

	土壌消毒	播種	定植
慣行	4人で 2時間	4人で 2時間	4人で 14時間
グリーンな 栽培体系	4人で 45時間 (作業は2.5時間)	2人で 5時間	

※ストック「スパークイエローⅡ」を約27,000本/10a栽培した場合

## 費用について (10a当たり。ただし、機械代を除く)

	土壌消毒	播種	定植
慣行	消毒機 40万円/台 農薬 4万円	資材費 1万円 種子代 7.7万円	人件費5.6万円
グリーンな 栽培体系	機械等 700万円/台 重油 15万円 (105円/Lの場合)	播種機 8万円/台 種子代 11.4万円 (加工賃含む)	

※慣行：クロールピクリンくん蒸剤を10aあたり2缶使用

※播種は家族労働力にて実施すると仮定した。

※人件費は一人当たり1,000円とした。

## (参考) 令和4年度実証試験ほ栽培概要

	土壌消毒	播種	収穫開始
グリーンな 栽培体系	10月5日	10月12日	2月19日

※ストック「スパークイエローⅡ」を栽培した場合

発行 令和5年3月  
発行元 神戸・西岬園芸技術連絡協議会  
問合せ先 千葉県安房農業事務所改良普及課  
〒294-0045 館山市北条402-1  
Tel: 0470-22-8132、Fax: 0470-22-0097

# 安房ストック版 グリーンな栽培体系マニュアル



神戸・西岬園芸技術連絡協議会

## ストック栽培が抱える課題

ストック産地である神戸地区・西岬地区では施設内が高温になる夏季に土壌消毒や苗の定植を行います。これらの作業は、作業者の化学合成農薬の暴露リスクや熱中症リスク、しゃがみ姿勢の連続による腰や膝の怪我のリスクを伴います。また、定植作業を担う地域内労働力は年々減ってきているのが現状です。これからもストック産地であり続けるためには、産地を担う人材の負担を軽減するとともに、少ない人数でも負荷がかかる作業が完結する作業体系が必要です。

## 課題解決のための技術

### 現状



夏季には高温になるハウス内で、クロールピクリンくん蒸剤を使用



定植時に膝や腰に負担がかかる姿勢

### 蒸気土壌消毒

ほ場表面に敷いたホースから噴出される蒸気が、雑草の種子や病害虫を死滅させます。



作業者はほ場に入る時間も短い上に、物理的防除法なため環境にやさしい防除技術です。

### シーダーテープ直播

種子を絡めた糸を地中に埋めていきます。



直播栽培に切り替えることで、作業人数を半分に削減！少ない人数で面積をこなすことができます。

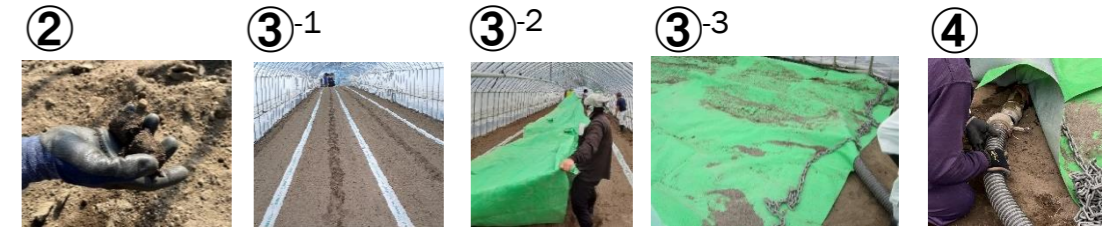
## グリーンな栽培体系と作業のポイント

### 基肥施用

土壌分析を実施の上、消毒1か月前に堆肥、2週間前を目安に基肥を施用する。なお、消毒により窒素が多く発現するので、基肥は窒素成分で3割減とする。

### 蒸気土壌消毒

- ①消毒前に堆肥及び基肥を施用しておく。
- ②消毒前日にかん水し、「塊を握ったら二つに割れる程度」の水分量になるようにする。
- ③消毒当日に蒸気噴霧ホースの設置とシートの被覆を実施する。
- ④蒸気を送り込む。1ベッド当たり2.5時間（70坪で約8時間）。



やけどに注意！

### 直播

- ①直播前に寒冷紗で地温を25℃程度まで下げておく。
- ②直播前日にかん水し、当日表面がやや乾いた程度になるようにする。
- ③畝を紐で囲んでおくと、まっすぐ播種できる。
- ④シーダーテープをセットしたら、紐に沿って播種機を手押しする。力を入れすぎると覆土が厚くなり、発芽が揃わない。なお、テープが濡れると分解が始まるので、濡らさない。
- ⑤直播後2週間程度は寒冷紗で覆っておく。発芽が揃ったら寒冷紗を外す。



### 追肥

葉枚数10枚前後で窒素成分6kg/10a相当の化成肥料を追肥する。水はこまめに少量かけ、葉色が淡くなるようであれば窒素成分3kg/10a相当の化成肥料を追肥する。

### 摘芯



### 収穫・出荷

慣行栽培法よりも根が張っているため、収穫時は途中でちぎれないように、できるだけ体の近くで抜く。かん水ホースを畝間に設置し、畝を湿らせると土がほぐれて収穫しやすくなる。